

UR まど

2018 2
No.239 隔月刊



街に、ルネッサンス

UR UR都市機構

<http://www.ur-net.go.jp/>

- 団地TOPICS / 気になるお店 4・5
- 暴力対策協議会を開催 6
- カンタン体操 / 暮らしの雑学 / 読者のひろば 7
- 団地イベント Pick Up! / 彩りレシピ 8

編集・制作 (株)高速オフセット

つながるひろがる 交流の輪

浜甲子園・浜甲子園さくら街・
浜甲子園なぎさ街 (兵庫県西宮市)

ACCESS 浜甲子園なぎさ街
◎阪神本線「甲子園」駅、またはJR神戸線「西宮」駅から
阪神バスで「浜甲子園団地第三」下車



いつまでも、 住み慣れた地域で 安心して暮らすために

カフェなぎさ

全国的に少子高齢化が進む中、URでは団地を含む地域が一体となって、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちの実現を目指し、賃貸住宅団地の「地域医療福祉拠点化」に向けた取り組みを進めています。

地域医療福祉拠点化推進団地の一つである浜甲子園(さくら街・なぎさ街を含む)団地は高齢化率※46%という地域に位置し、団地内にも多くの高齢者が居住しておられます。これまでもURコミュニティ阪神住まいセンターが中心となって「音楽療法講座」や「体操教室」など団地居住者と地域住民との交流イベントを開催してきましたが、このたび高齢者が気軽に立ち寄れる場所として「カフェなぎさ」を浜甲子園なぎさ街団地内集会所にオープンしました。

団地在住の有志7人による「なぎさカフェボランティア」が主体となり、西宮市社会福祉協議会や浜甲子園地域

包括支援センター、住宅経営部ウェルフェア推進課、阪神住まいセンター、自治会などとの連携によって運営される「カフェなぎさ」。毎月1回、第2火曜日に開催されます。

カフェの最大の特徴は介護や福祉などの専門職が常駐していること。お茶を飲みながら友だち同士おしゃべりをするだけでなく、日常生活や健康面で困っていること、不安に思っていることを気軽に相談できます。カフェ開催に向け、昨年5月の準備段階から携わってきた浜甲子園地域包括支援センターの橋本典子さん、西宮市社会福祉協議会の辻野朋子さんは「福祉や介護など何でも気軽に相談してほしい。このカフェが地域の交流拠点として、いつ、誰が来ても和める場所になれば」と期待を寄せています。

※高齢化率…総人口に占める65歳以上人口の割合(平成29年12月末現在)

浜甲子園団地でコープこうべが 移動店舗販売をスタート

12月7日から浜甲子園団地でコープこうべの移動店舗販売が始まりました。他団地でも「交通手段がなく買い物に不便」「重い荷物を持って帰ってくるのが大変」と感じておられる住民の方に好評をいただいている移動店舗販売。初日は30人以上の方が訪れ、食品や日用品の買い物を楽しんでいました。移動店舗販売は毎週木曜日の10時から11時25分まで、団地内3カ所を移動しながら実施しています。



←山田さんの伴奏で参加者の皆さんの元気な歌声が会場に響きました



↑コーヒーのドリップはスタッフみんなで練習しました

約40人参加で盛況に オープニングイベントを開催

1月9日には「カフェなぎさ」のオープニングイベントを開催。雨上がりで強風が吹く悪天候でしたが団地内外から約40人が参加し、急ぎよ席を追加するほどの盛況となりました。

ボランティアスタッフが淹れるおいしいコーヒー、紅茶を飲みながら「Musicぼえむ音楽教室」の山田英子さんのリードで「どじょ

こふなっこ」荒城の月「学生時代」といった曲を合唱。参加者たちは「来てみてよかった」「来月も来ます」と大満足の様子でした。

ボランティア代表の本井利子さんは「おひとり暮らしの方も増え『日ごろの出会いが少なくなって情報交換できない』ことが不安で、みんなが集まれる場所ができることを熱望していました。このカフェで人との絆やつながり、『ひとりじゃない』ということを感じていただければ」と話していました。

大切な団地の風景

美団地

KANSAI

団地とオブジェ

美しい団地には、「こだわり」がいっぱい。歴史や伝統、四季折々の美しい風景を毎号お届けします。



住吉(大阪市住之江区)



新長田駅前(神戸市長田区)



武庫川(兵庫県西宮市)

団地の美を
発信しています!

@vidanchi_kansai

@vidanchikansai

vidanchi.jp/kansai



水漏れ・断水・停電などのトラブルがあった場合
24時間緊急事故時の連絡先

緊急事故受付センター TEL.06-6969-2151